

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立

## 大門小学校



### 学校スローガン

『笑顔いっぱい みんなに愛される大門小学校』  
～学び 鍛え 夢を育む～

☆学校を楽しむための

「元気アッププロジェクト」実施中（令和2年度）

- 1 開校148周年の歴史を生かした地域と協働したチャレンジ強歩の実施
- 2 豊かな自然環境を生かした栽培・飼育活動の充実

■ 所在地：さいたま市緑区大門1189番地 ■ 電話：048-878-0024  
■ FAX：048-812-1047 ■ 交通：JR武蔵野線東川口駅北口徒歩15分



## 01 地域とともにある学校づくり

### 日光御成道チャレンジ強歩の実施



本校学区は、江戸時代より日光御成道の4つ目の宿場、『大門宿』として栄え、現在も街道沿いに大門宿本陣表門（埼玉県指定史跡）と脇本陣（市指定有形文化財）が残されています。大門小学校では、子どもたちが、自分が住んでいるこの地域に関心や誇りを持ち、その歴史や地域のよさを知ることを通して地域を大切にする心を育てるため、「日光御成道チャレンジ強歩」の実施をしております。大門小学校から岩槻城址公園までの約1.4kmという距離を粘り強く歩くことを通して達成感を味わわせ、自信をもたせるとともに「やり抜く力」を培うことも目的としています。学校と家庭、地域が一つになって取り組むことで、家庭・地域との連携を深め、子どもたちの健全育成を推進していきます。また、歴史ある地域を生かした教材開発を行い、「総合的な学習の時間」において、地域を主軸に、横断的な学習を行っていきます。この取組を通じて、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくり」、目標3「すべての人に健康と福祉を」に寄与していきたいと考えています。



## 02 緑豊かな学校の特色を生かす栽培・飼育活動の充実

### 豊かな自然環境を生かした継続的な学習



本校は、学校ファーム、「野鳥の森」等、自然豊かな環境に恵まれています。学校ファームでは、じゃがいも、さつまいも、米、大根等、季節の野菜を各学年が育てています。自身が育てた食材を収穫し、給食で調理してもらい、食べることで、残さずに食べようという心を育てることを目指しています。また、「野鳥の森」等ではキジをはじめとする多くの野鳥や、カブトムシ、クワガタムシ、カマキリ等の昆虫がたくさん生息しています。児童は飼育したい昆虫の環境を整えるために、住処やえさについて主体的に学び、考え、それぞれの生物にとって暮らしやすい環境をつくり、飼育をしています。このように、小学校生活6年間を通して、豊かな自然環境を生かした学習を通して、身近な地域の環境について考えることができます。これらの取組を通じて、SDGsの目標12「つくる責任つかう責任」、目標15「陸の豊かさも守ろう」に貢献していきたいと考えています。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

## 七里小学校 > > > > > > > >

- 1 「なかよく助け合う子」「なんでもがんばる元気な子」「しっかり考えて学ぶ子」学校教育目標のもと、児童一人ひとりの可能性を伸ばす教育活動の推進
- 2 149周年を迎え、親子3代が関わる地域に根差した学校
- 3 合言葉は「えがお かがやく 七里っ子」



■所在地：さいたま市見沼区東宮下312 ■電話：048-683-3513  
■FAX：048-683-8993 ■交通：東武アーバンパークライン七里駅徒歩20分

### 01 児童の安心・安全な学校生活のために



本校では、特別活動の研究を通して、互いに認め合いよりよい学校生活について考えることができる話合

い活動の充実に力を入れています。どのような児童も意見を言うことができ、話合のテーマに沿って平等に意見交換ができるよう指導をしています。また、児童会が作成する「いじめ撲滅スローガン」のもと、「いじめ撲滅の木」や「あいさつ運動」に取り組むことで、児童全員が安心して充実した学校生活を送れるようにしたいと考えています。



### 02 児童のやる気を高め、主体的に活動に取り組むために



本校では、委員会活動や異学年で交流を行う縦割り班活動、各クラスでの係活動を通して、働く意義について考えられるようにしています。そのために、児童同士で当番に「ありがとうカード」を渡して互いのやる気を高めたり、定期的に活動の振り返りを行ったりすることで、児童が働く意義について考え、よりよい活動ができるよう支援しています。係の活動を広めるために作成するポスター等は、児童が自分達でレイアウトを決められるようにし、誰もが意欲的に取り組めるようにしています。

### 03 児童と地域のよりよい生活のために



給食委員会では、「もりもりキャンペーン」を通して残菜ゼロを目指す取組を行っています。給食室の1日をビデオ放映したり、完食を目指す「元気もりもりの木」を作成したりして、今ある食べ物を大切にできるよう指導しています。また、美化掲示委員会では、校庭のゴミ拾いや落ち葉拾いを常時活動として活動しています。PTAやおやじの会と協力して年2回「親子清掃」も行い、学校や地域の環境改善に取り組んでいます。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立宮原中学校



## 校訓 「夢ひとすじに」

### <学校教育目標>

- 学 び 生活リズムを整え、主体的に学習し、授業と家庭学習を大切にできる生徒
- 磨 き 生命尊重の心、思いやりの心、感動する心、奉仕の心をもつ生徒
- 鍛 え 心身ともに健康で、努力を惜しまず、最後までやり抜く生徒
- 羽ばたけ 他者とのコミュニケーションを大切に夢と希望、自信と誇りをもてる生徒



■所在地：さいたま市北区宮原町 4-129 ■電話：048-663-0961

■FAX：048-663-9881 ■交通：JR 宮原駅西口徒歩 20 分

## 01 SDGs や人権感覚を養う学校環境の整備および授業の実践



(1)ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教室環境の整備

- ・教室前面のレイアウトを全校統一とし、生徒が授業に集中できる教室環境整備
- ・SDGs や人権感覚を養う掲示物作成と掲示

(2)ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業展開の工夫

- ・豊かであたたかな人間関係を育むための日々の授業実践

(3)「総合的な学習の時間」を活用した SDGs の実践

- ・1 学年では、未来くるワーク体験を通して SDGs に関わる企業の取組を取材し、SDGs に対する理解を深めていきます。
- ・1、2 学年では、校外学習や館岩少年自然の教室の取組を通して SDGs に関連する学習活動（史跡・自然・歴史・郷土等を調べ、体験を通して学んだ内容の深化）を行います。
- ・3 学年では、義務教育最終年度の総仕上げとして SDGs をテーマにした卒業論文を制作します。



## 02 「誰一人取り残さない」生徒会組織を中心としたSDGsへの取組



11 の委員会活動を通して、SDGs の目標に迫る取組を行っていきます。

☆生徒会本部：基本理念「誰一人取り残さない」生徒会活動の推進

- ①学級委員会：目標 10、17 ②生活委員会：目標 10、16 ③体育委員会：目標 3
  - ④保健委員会：目標 3、6 ⑤美化委員会：目標 6、11 ⑥緑化委員会：目標 13、15
  - ⑦給食委員会：目標 2 ⑧放送委員会：SDGs の達成に向けた広報活動 ⑨安全奉仕委員会：目標 12
  - ⑩掲示委員会：SDGs や人権感覚を養う ⑪図書委員会：目標 4
- 学校環境の整備（掲示物作成と掲示） 図書館内へ SDGs の広報コーナーの設置



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立  
**大宮八幡中学校**



本校は学校教育目標を「心豊かで たくましい 広い世界に生きる人間の育成～好奇心こそすべての始まり～」とし、ESD（持続可能な開発のための教育）の研究を推進しています。人権、環境、国際理解、多文化共生などの視点から地球規模の課題を生徒自身のこととして認識し、中学生として今何をしなければならないのかを足元から考える教育活動を通じて、「ESDの考えを生かした、自ら学び、考え、行動する生徒」の育成に取り組んでいます。



■所在地：さいたま市見沼区大字南中丸3-5-7

■電話：048-687-8800

■FAX：048-687-9301

■交通：アーバンパークライン 大和田駅徒歩18分

## 01 SDGs17の目標を意識した日々の授業実践

学校オリジナルのESDカレンダーに基づく教科横断的な授業



本校では、各教科等の授業において、SDGs17の目標と学習内容との関連を明確にした、本校オリジナル「ESDカレンダー」と「補助資料」を作成し、それに基づいて全

職員が共通理解の下、SDGsを意識した授業実践に日々取り組んでいます。

## 02 国際教育（多文化共生）の充実

届けよう服のチカラプロジェクト



ユニクロからスタッフを招き、難民の現状や服のもつ力について学び、自分が

できることを考え、着なくなった子供服を回収し世界の難民に送るといったプロジェクトに取り組んでいます。また、

留学生と交流し、世界の現実理解と多文化共生社会を実感するとともに日本の素晴らしさについて改めて知る活動も行っています。こうした活動を通じてSDGsの目標1「貧困をなくそう」や目標10「人や国の不平等をなくそう」に貢献していきたいと考えています。



届けよう服のチカラプロジェクト

## 03 人権教育・環境教育の充実

人権教育講演会・地域の社会教育施設（五反田会館）との連携・八幡ファーム



本校では、新聞記者を招き、新聞を教材にSDGsを学ぶ授業や地域の社会教育

施設（五反田会館）との連携、地域の敬老の集いへの参加、地域の方々や企業の支援による八幡ファーム（学校農園）、

人権意識の高揚を図る人権講演会や生徒による人権朝礼などを行っています。こうした活動を通じて、SDGsの目標15「陸の豊かさを守ろう」、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」に寄与していきたいと考えています。



SDGsについて新聞を教材に学ぶ

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立大宮国際中等教育学校

Saitama Municipal Omiya International Secondary School



- 1 国際バカロレア（IB）を核とした探究活動と親和性の高い ICT を組み合わせた実践的な研究活動の推進
- 2 海外研修にて異文化体験し、海外の同世代と未知の諸課題への解決を図ることによるグローバルな貢献活動
- 3 大学や企業等と連携した、実社会で役立つ経験を積み重ねた教育活動の展開



■所在地：さいたま市大宮区三橋 4-96 ■電話：048-622-8200 ■FAX：048-622-6700  
■交通：JR 大宮駅から西武バスで大宮国際中等教育学校バス停下車徒歩 5 分

## 01 IB と ICT のコラボレーション

### 探究活動と ICT を組み合わせた研究活動の推進



本校は、総合的な学習の時間「3 G Project」において、2年生の生徒全員が半年間をかけ、SDGs の 1

7 の目標から各自が 1 つを選び、その実現に向けて自分がどのような貢献ができるか、どのように行動していくのかについて探究しています。実践的な取り組みとして、自作のポスターを掲示して注意喚起を呼び掛けたり、自作の動画を作成して YouTube にアップして社会貢献を促したりするなど、生徒自身が行動する学習者を育てています。こうした取組を通じて、SDGs を意識した授業実践に取り組んでいます。



ICT を活用した探究活動

## 02 グローバルな視点での課題解決

### 世界中の同世代と未知の諸課題への解決を図るための活動



本校は、生徒全員が 3 年生でニュージーランドを舞台にフィールドワークを行います。現地の連携校のいくつかは SDGs に

ついて探究活動を行っており、事前学習や現地訪問で、現地の川の水について同世代の人たちと一緒に「人は川や海にどのような影響を与えているのか」などについて、協働で探究活動を行うよう計画しています。SDGs の目標 14「海の豊かさを守ろう」に寄与していきたいと考えています。



ニュージーランドの現地の様子

## 03 実社会で役立つ経験の積み重ね

### 大学や企業等と連携した教育活動



本校は、芝浦工業大学と連携し、SDGs の視点でさいたま市の諸課題について意見交換をしています。実践的な活動の 1 つとして、大学生と一緒に学校の

近くへフィールドワークに出掛け、地域防災マップを作成するなど、学校の近隣の人たちに役立つための貢献活動を行っています。SDGs の目標 11「住み続けられるまちづくりを」に寄与していきたいと考えています。



学校近隣のフィールドワーク